

# 平成24年度 春夏作野菜花き関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

公益財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成24年度春夏作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成24年12月18日(火)～19日(水)に浅草ビューホテルにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者46名、委託関係者42名ほか、計101名の参集を得て、除草剤21薬剤(83点)、

生育調節剤7薬剤(32点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

## 平成24年度 春夏作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

### A. 野菜関係 除草剤

注)ワカライは新たに判定された部分を示す

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 >は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	判定	判定内容	
1. AC-263 液 イオノキラス アモニウム塩 :0.85%  [BASF] ヤパン	トマト	適用性 新規	北海道北見 J北海道 (2)	ねらい	雑草発生揃～2葉期 (北海道)	雑	雑 ・効果、薬害の確認
				対象 雑草			
				設計 薬量 (水量) /10a	茎葉兼土壌処理 定植後、雑草発生揃～2葉期 150mL <100L 200mL <100L 300mL <100L 参) コーギー乳剤 定植後、雑草発生前 300mL <100L		
	トマト	倍量薬害 新規	北海道北見 J北海道 (2)	ねらい	倍量薬害		
				対象 雑草	一年生(併) - 一年生広葉 - 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 -		
				設計 薬量 (水量) /10a	茎葉兼土壌処理 定植後、雑草発生揃～2葉期 300mL <100L 600mL <100L (倍量区)		
2. AH-01 液 クマノネトP1000A塩 :11.5%  [Meiji Seika] フルマ 北興化学工業]	アスパラ ガス	適用性 継続	北海道道南 <中間> J北海道 <中間> 山形国試<中間> 長野 野花試 (4)	ねらい	収穫打ち切り直後、雑草生育期	実・雑 (従来 どお り)	[春夏作;一年生雑草] ・萌芽前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・全面茎葉処理 ・300～500mL<100～150L>/10a
				対象 雑草	一年生(併) 全般 一年生広葉 全般 多年生(併) 全般 多年生広葉 全般 その他 スナナ		
				設計 薬量 (水量) /10a	全面茎葉散布 収穫打ち切り直後・雑草生育期(草丈30cm以下) 500mL <100L 500mL <150L 1000mL <100L		雑 ・収穫打ち切り後全面処理での効果、薬害の確認
	ショウガ	適用性 継続	千葉大環境健康F 高知 J鹿児島大隅 (3)	ねらい	畦間処理(東北以南)	実・雑 (実)	[春夏作;一年生雑草] ・植付後萌芽前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・全面茎葉処理 ・300～500mL<100～150L>/10a
				対象 雑草	一年生(併) 全般 一年生広葉 全般 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 -		
				設計 薬量 (水量) /10a	畦間雑草茎葉散布 しょうが生育期・雑草生育期(草丈30cm以下) 300mL <100L 300mL <150L 500mL <100L 対) ハス液剤 しょうが生育期・雑草生育期(草丈30cm以下) 300mL <100L		[春夏作;一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・畦間処理 ・300～500mL<100～150L>/10a
							注) ・雑草の草丈30cm以下で散布する ・作物に飛散しないように散布する
							雑 ・畦間処理での効果、薬害の確認

A. 野菜関係 除草剤

注)アフリケイは新たに判定された部分を示す

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
3. AKD-7164 水和 シアンゲン:50%  [アフリケイ]	トマト	適用性 継統	北海道花・野菜 J北海道 (2)	ねらい 対象 雑草 -一年生付根 - -一年生広葉 全般(ワコサを除く) -多年生付根 - -多年生広葉 - その他 -  設計 薬量 (水量) /10a 全面土壌処理 定植活着後(雑草発生前) 50g <100L> 75g <100L> 100g <100L> 対) コーゴ 乳剤 定植後雑草発生前 300mL <100L>	実・継	[春夏作・露地;一年生雑草] ・定植活着後 雑草発生前 ・全面土壌処理 ・100~200g<100L>/10a  [春夏作・露地;一年生広葉雑草 (ワコサを除く)] ・定植活着後 雑草発生前 ・全面土壌処理 ・50~100g<100L>/10a  注) ・雑科以外の草種には効果が劣る場合がある。  継) ・低薬量(50g/10a)での一年生広葉雑草に対する 効果、薬害の年次変動の確認
4. CG-119a 乳 S-トリクロル:83.7%  [シンジエンダクヤパン]	トマト	適用性 継統	北海道十勝 植調研 長野 野花試 鹿兒島 熊毛 (4)	ねらい 対象 雑草 -一年生付根 全般(スズノカタビラを含む) -一年生広葉 全般 -多年生付根 - -多年生広葉 - その他 -  設計 薬量 (水量) /10a 全面土壌処理 植付後萌芽前(雑草発生前) 70mL <100L> 100mL <100L> 130mL <100L> 対) コックス水和剤 植付後萌芽前 100g <100L>	実・継	[春夏作・露地;一年生雑草] ・植付後萌芽前 雑草発生前 ・全面土壌処理 ・70~130mL<100L>/10a  継) ・年次変動の確認(北海道)
	トマト	倍量薬害 継統	植調研 (1)	ねらい 対象 雑草 -一年生付根 - -一年生広葉 - -多年生付根 - -多年生広葉 - その他 -  設計 薬量 (水量) /10a 全面土壌処理 植付後萌芽前(雑草発生前) 130mL <100L> 260mL <100L> (倍量区)		
5. CG-123a フォーフ トリレンジン:27.8% S-トリクロル:26.4%  [シンジエンダクヤパン]	トマト	適用性 新規	茨城 山間地帯 <中間> (1)	ねらい 対象 雑草 -一年生付根 全般(スズノカタビラを含む) -一年生広葉 全般 -多年生付根 - -多年生広葉 - その他 -  設計 薬量 (水量) /10a 全面土壌処理 定植後萌芽前 250mL <100L> 500mL (倍量) <100L> 対) フォーフ フォーフ 定植後萌芽前 400mL <100L>	継	継) ・効果、薬害の確認
6. HCW-201 フォーフ DCMU:50%  [*保土谷UPL 北興化学工業]	トマト	適用性 継統	北海道十勝 (1)	ねらい 対象 雑草 -一年生付根 全般 -一年生広葉 全般 -多年生付根 - -多年生広葉 - その他 -  設計 薬量 (水量) /10a 茎葉兼土壌処理 やまのいも生育期雑草生育期 100mL <100L> 150mL <100L> 200mL <100L> 対) コックス水和剤 やまのいも生育期雑草生育期 100g <100L>	実・継 (従来 どお り)	[春夏作・露地;一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・畦間茎葉兼土壌処理 ・100~200mL<100L>/10a  注) ・雑草の草丈 15cm 以下で散布する ・作物に飛散しないように散布する  継) ・年次変動の確認

A. 野菜関係 除草剤

注)アツゲ-ラインは新たに判定された部分を示す

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種・類 新・継 の別	試験担当場所 ↳は試験中など (数)	ねらい試験設計等		判定	判定内容
7. MAH-1001 フロアブル プロパキチンアブ: 10%  【マクサム・アグ・ソ・シ・ヤ ン】	タネキ	作用性 新規	独 北海道農研 J北海道 (2)	ねらい 対象 雑草	1. 1年生育期 全般(スノオビ等を含む) 2. 1年広葉 - 3. 多年生育期 - 4. 多年広葉 - 5. その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 全面茎葉処理 生育期、1年生1年雑草3~6葉期 100mL <100L> 125mL <100L> 150mL <100L> 対) セト乳剤 1年生1年雑草(3~6葉期) 75mL <100L>	-	(作用性)
	ニンゲン	作用性 新規	J北海道 植調研 (2)	ねらい 対象 雑草	1. 1年生育期 全般(スノオビ等を含む) 2. 1年広葉 - 3. 多年生育期 - 4. 多年広葉 - 5. その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 全面茎葉処理 生育期、1年生1年雑草3~6葉期 100mL <100L> 125mL <100L> 150mL <100L> 対) セト乳剤 1年生1年雑草(3~6葉期) 75mL <100L>	-	(作用性)
8. NC-360 フロアブル キチンアブ: 7%  【日産化学工業】	アロコリ	適用性 新規	北海道道南 J北海道 (2)	ねらい 対象 雑草	1. 1年生育期 全般(スノオビ等を除く) 2. 1年広葉 - 3. 多年生育期 - 4. 多年広葉 - 5. その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 茎葉処理(全面茎葉処理) アロコリ-生育期、1年雑草生育期(3~6L) 200mL <25L> 200mL <100L> 300mL <25L> 対) アブ乳剤 1年3-5L 150mL <100L>	継	継) ・効果、薬害の確認
	アロコリ	適用性 新規	広島 福岡 J鹿児島大隅 <中間> (3)	ねらい 対象 雑草	1. 1年生育期 全般(スノオビ等を除く) 2. 1年広葉 - 3. 多年生育期 - 4. 多年広葉 - 5. その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 茎葉処理(全面茎葉処理) アロコリ-生育期、1年雑草生育期(3~6L) 200mL <25L> 200mL <100L> 300mL <25L> 対) アブ乳剤 1年3-5L 150mL <100L>		
9. NC-622 液 アロコリ: 48%  【日産化学工業】	ハクイ	適用性 継続	北海道上川 (1)	ねらい 対象 雑草	1. 1年生育期 全般(スノオビ等を除く) 2. 1年広葉 - 3. 多年生育期 - 4. 多年広葉 - 5. その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 茎葉処理(全面茎葉処理) はくさい生育期、1年雑草生育期(3-6L) 200mL <25L> 200mL <50L> 200mL <100L> 対) アブ乳剤 1年3-5L 200mL <100L>	実-継 (従来 どおり)	実) [春夏作、露地; 1年生1年雑草(スノオビ等を除く)] ・生育期 雑草生育期 (1年雑草3~6葉期) ・全面茎葉処理 ・200mL<25~100L>/10a (水量25~50Lは専用ノズルを使用する)  継)- 1年次変動の確認
	アロコリ	適用性 継続	J北海道<中間> (1)	ねらい 対象 雑草	1. たまねぎ収穫後、アロコリ生育期 2. 1年生育期 - 3. 1年広葉 - 4. 多年生育期 - 5. 多年広葉 - 6. その他 アロコリ 設計 薬量 <水量> /10a 茎葉処理(全面茎葉処理) たまねぎ収穫後、アロコリ生育期(草丈30cm以下) 1500mL <25L> 1500mL <100L> 2000mL <25L> 対) 慣行処理(一任)	実-継	実) [春夏作、露地; アロコリ] ・収穫後 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・全面茎葉処理 ・1500~2000mL<25~100L>/10a (水量25~50Lは専用ノズルを使用する)  継) ・年次変動の確認

## A. 野菜関係 除草剤

(注)アザラインは新たに判定された部分を示す

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種別 新・継 の別	試験担当場所 (>は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	判定	判定内容
10. NK-1101 水和 S-メトフホス24.8% アザライン26.6%  【日本化薬】	タマネギ (移植)	作用性 新規	北海道花・野菜セ J北海道 (2)	ねらい 定植活着後(北海道) 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 (水量) /10a 全面土壌処理 定植活着後(雑草発生前) 150g <70L> 150g <100L> 225g <70L> 450g <100L> (倍量区) 対) コク-水中和剤 定植活着後(雑草発生前) 300g <100L>	-	(作用性)
	サインゲン	作用性 新規	北海道道南 J北海道 (2)	ねらい 播種後出芽前(北海道) 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 (水量) /10a 全面土壌処理 播種後出芽前(雑草発生前) 225g <70L> 225g <100L> 300g <70L> 600g <100L> (倍量区) 対) コク-水中和剤 播種後出芽前(雑草発生前) 400g <100L>	継	継) ・効果、薬害の確認
	サインゲン	適用性 新規	植調研 J鹿兒島大隅 (2)	ねらい 播種後出芽前(東北以南) 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 (水量) /10a 全面土壌処理 播種後出芽前(雑草発生前) 225g <70L> 225g <100L> 300g <70L> 対) 一任		
	ニンジン	作用性 新規	北海道花・野菜セ J北海道 (2)	ねらい 播種後出芽前(北海道) 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 (水量) /10a 全面土壌処理 播種後出芽前(雑草発生前) 150g <100L> 300g <100L> (倍量区) 対) コク-水中和剤 播種後出芽前(雑草発生前) 200g <100L>	継	継) ・効果、薬害の確認
	ニンジン	適用性 新規	橋本 京都 丹後 (2)	ねらい 播種後出芽前(東北以南) 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 (水量) /10a 全面土壌処理 播種後出芽前(雑草発生前) 150g <100L> 対) 一任		
	ヤマノイモ	作用性 新規	北海道十勝 植調研 (2)	ねらい 植付後萌芽前 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 (水量) /10a 全面土壌処理 植付後萌芽前(雑草発生前) 225g <100L> 300g <100L> 600g <100L> (倍量区) 対) コク-水中和剤 植付後萌芽前(雑草発生前) 400g <100L>	継	継) ・効果、薬害の確認
	ヤマノイモ	適用性 新規	青森 野菜研 鹿兒島 熊毛 (2)	ねらい 植付後萌芽前(東北以南) 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 (水量) /10a 全面土壌処理 植付後萌芽前(雑草発生前) 225g <100L> 300g <100L> 対) 一任		

A. 野菜関係 除草剤

(注)アフリカは新たに判定された部分を示す

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 >は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	判定	判定内容	
11. NP-55 乳 剤(シジ)A:20%  [日本曹達]	トマト	適用性 新規	北海道北見 J北海道  (2)	ねらい	実・継 (S58の 表示変 更)	実) [春まき露地移植春夏作、露地; 一年生(科雑草 (ス'メカビ'ラを除く)]  体系 →横行土壌処理剤施用後、生育期、(科雑草3~6 薬期 →150mL/10a →全面茎葉処理  単用 ・生育期、(科雑草3~5薬期 ・150~200mL(100~150L)/10a ・全面茎葉処理  継) (科雑草6~8薬期での効果、薬害の確認	
				対象 雑草			1年生育期 全般(ス'メカビ'ラを除く)
				1年生広葉			-
				多年生育期			-
設計 薬量 (水量) /10a	全面茎葉処理 生育期、雑草生育期(1年生(科雑草)6-8薬期 200mL <100L> 対) 8'メ'7077'ル 生育期、雑草生育期(1年生(科雑草)6-8薬期 300mL <100L>						
ニンジ	適用性 新規	北海道上川 J北海道  (2)	ねらい	実・継 (実)	実) [春まき露地移植春夏作、露地; 一年生(科 雑草(ス'メカビ'ラを除く)]  体系 →横行土壌処理剤施用後、(科雑草3~5 薬期 →150mL(ただし水地は150~200mL)<100L>/10a →全面茎葉処理  単用 ・生育期、(科雑草3~5薬期 ・150~200mL(100~150L)/10a ・全面茎葉処理  継) (科雑草6~8薬期での効果、薬害の確認		
			対象 雑草			1年生育期 全般(ス'メカビ'ラを除く)	
			1年生広葉			-	
			多年生育期			-	
設計 薬量 (水量) /10a	全面茎葉処理 生育期、雑草生育期(1年生(科雑草)6-8薬期 200mL <100L> 対) 8'メ'7077'ル 生育期、雑草生育期(1年生(科雑草)6-8薬期 300mL <100L>						
ニンジ	適用性 新規	栃木 京都 丹後  (2)	ねらい	実・継 (実)	実) [春夏作、露地; 一年生(科雑草(ス'メカビ'ラを除 く)] ・生育期 (科雑草6~8薬期 ・200mL(100~150L)/10a ・全面茎葉処理  継) (科雑草6~8薬期での年次変動の確認		
			対象 雑草			1年生育期 全般(ス'メカビ'ラを除く)	
			1年生広葉			-	
			多年生育期			-	
設計 薬量 (水量) /10a	全面茎葉処理 生育期、雑草生育期(1年生(科雑草)6-8薬期 200mL <100L> 200mL <150L> 対) 8'メ'7077'ル 生育期、雑草生育期(1年生(科雑草)6-8薬期 300mL <100L>						
ヤマイ	適用性 新規	青森 野菜研 愛知 山間 鹿児島 熊毛  (3)	ねらい	実・継 (実)	実) [春露地栽培春夏作、露地; 一年生(科雑草(ス 'メカビ'ラを除く)] ・生育期 (科雑草3~5薬期 ・150~200mL(100~150L)/10a ・全面茎葉処理  継) (科雑草6~8薬期での年次変動の確認		
			対象 雑草			1年生育期 全般(ス'メカビ'ラを除く)	
			1年生広葉			-	
			多年生育期			-	
設計 薬量 (水量) /10a	全面茎葉処理 生育期、雑草生育期(1年生(科雑草)6-8薬期 200mL <100L> 200mL <150L> 対) 8'メ'7077'ル 生育期、雑草生育期(1年生(科雑草)6-8薬期 300mL <100L>						

## A. 野菜関係 除草剤

注)アンダーラインは新たに判定された部分を示す

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類・種 新・継 の別	試験担当場所 >は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	判定	判定内容
12. SL-122 顆粒水和 7R7S'ホップ-P:7% リニオン:30%  [石原産業]	ニンジン	適用性 継続	北海道花・野菜を J北海道  (2)	ねらい にんじん1~2L期(北海道) 対象 雑草 一年生1科 全般 一年生広葉 全般 多年生1科 - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /10a 茎葉兼土壌処理 にんじん1~2葉期、雑草生育期(草丈20cm以下) 200g <100L> 225g <100L> 250g <100L> 対) ホップホス水和剤 播種後出芽前 150g <100L>	実・継 (従来 どおり)	実) [春夏作、露地;一年生雑草] ・生育期(1~2葉期) 雑草生育期(草丈20cm以下) ・全面茎葉兼土壌処理 ・200~250g<100L>/10a  [春夏作、露地;一年生雑草] ・生育期(3~5葉期) 雑草生育期(草丈20cm以下) ・全面茎葉兼土壌処理 ・170~250g<100L>/10a  注) ・ニンジン生育期の処理では褐変、葉枯れを生じる 場合がある  継) ・ニンジン出芽期処理での効果の確認 ・ニンジン3葉期処理での年次変動の確認 ・生育期処理での葉害の確認
13. ZK-122 液 グリアートカリウム塩: 44.7%  [シジエンテクノパソン]	ナス	適用性 継続	新潟 園研 植調研 京都園芸 福岡 鹿児島  (5)	ねらい 畦間処理 対象 雑草 一年生1科 全般 一年生広葉 全般 多年生1科 - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /10a 畦間茎葉処理 ナス生育期、雑草生育期(草丈30cm以下) 250mL <25L> 250mL <100L> 500mL <25L> 対) ベタ液剤 畦間茎葉処理(ナス生育期、雑草生育期) 500mL <100L>	実	実) [春夏作;一年生雑草] ・生育期、雑草生育期 ・畦間茎葉処理 ・250~500mL<25~100L>/10a (水量25~50Lは専用ノズルを使用する)  注) ・雑草の草丈30cm以下で散布する ・作物に飛散しないように散布する
	ナス	倍量薬害 継続	鹿児島  (1)	ねらい 畦間処理(倍量薬害) 対象 雑草 一年生1科 - 一年生広葉 - 多年生1科 - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /10a 畦間茎葉処理 ナス生育期 500mL <25L> 1000mL <25L> (倍量区)		
14. UP12'ギャボン 液 7'ギャボン:37%  [UPL2'ギャボン]	ネリノク	作用性 新規	植調研  (1)	ねらい 播種後出芽前 対象 雑草 一年生1科 全般 一年生広葉 全般 多年生1科 - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /10a 土壌処理 播種後出芽前雑草発生前 600mL <100L> 800mL <100L> 1000mL <100L>	-	(作用性)
	ネリノク	作用性 新規	植調研  (1)	ねらい 子葉展開期 対象 雑草 一年生1科 全般 一年生広葉 全般 多年生1科 - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /10a 茎葉兼土壌処理 ネリノク子葉展開期 600mL <100L> 800mL <100L> 1000mL <100L>		

A. 野菜関係 除草剤

注) アングラインは新たに判定された部分を示す

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・雑 の別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	判定	判定内容
15. アロピクシド水和 プロピクシド:50%  [サウザン日本]	カキ	適用性 継続	北海道北見 (1)	ねらい	実・雑	実) [春夏作、露地移植; 一年生雑草(キ科、キツブゲイ科 を除く)] ・定植活着後 雑草発生前 ・全面土壌処理 ・300~400g<100L>/10a  [春夏作、露地移植; 一年生イネ科雑草] ・定植活着後 雑草発生前 ・全面土壌処理 ・200~300g<100L>/10a  雑) →200~300g/10a処理での年次変動の確認
				定植後、雑草発生前(北海道)		
				対象 雑草		
				一年生イネ	スズノヒゲ	
				一年生広葉	-	
				多年生イネ	-	
				多年生広葉	-	
				その他	-	
				設計 薬量 <水量> /10a	全面土壌処理 定植後、雑草発生前 但し、収穫45日前まで 200g <100L> 300g <100L> 対) アロピクシド乳剤 定植後、雑草発生前 但し、収穫60日前まで 400mL <100L>	

B. 平成23年度 春夏作分 野菜関係 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・雑 の別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	判定	判定内容
1. AH-01 液 アセチン-Pナトリウム 塩:11.5%  [Meiji Seikaファル マ、北興化学工業]	アスハラ ガス	適用性 新規	J北海道 (1)	ねらい	-	・前回の判定どおり(実・雑)
				収穫打ち切り後全面処理		
				対象 雑草		
				一年生イネ	全般	
				一年生広葉	全般	
				多年生イネ	全般	
				多年生広葉	全般	
				その他	スギナ	
				設計 薬量 <水量> /10a	全面茎葉散布 収穫打ち切り後・雑草生育期(草丈30cm以下) 500mL <100L> 500mL <150L> 1000mL <100L>	
2. NC-622 液 グリホサート塩:48%  [日産化学工業]	カキ	適用性 継続	北海道北見 J北海道 (2)	ねらい	-	(H24年度分参照)
				収穫後全面茎葉処理		
				対象 雑草		
				一年生イネ	-	
				一年生広葉	-	
				多年生イネ	-	
				多年生広葉	-	
				その他	スギナ	
				設計 薬量 <水量> /10a	全面茎葉処理 カキ取後、スギナ生育期(草丈30cm以下) 1500mL <25L> 1500mL <100L> 2000mL <25L>	

C. 平成23年度 春夏作分 野菜関係 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・雑 の別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	判定	判定内容
1. CG-119a 乳 S-メトラフオール:83.7%  [シジエンジャパン]	エタマノ (移植)	適用性 新規	植調研 (1)	ねらい	雑	雑) ・効果、薬害の確認
				定植前、雑草発生前		
				対象 雑草		
				一年生イネ	全般(スズノヒゲを含む)	
				一年生広葉	全般	
				多年生イネ	-	
				多年生広葉	-	
				その他	-	
				設計 薬量 <水量> /10a	全面土壌処理 定植前(雑草発生前) 70mL <70L> 70mL <100L> 130mL <70L>	

## D. 花き関係 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	ねらい・試験設計等		判定	判定内容	
1. HG-1010 液 グリスチン・トリブリン・ピロピリン 塩:41.0%  [ハート]	ライグ・ネイ グ・キ	適用性 継続	広島 (1)	ねらい 対象 雑草	樹幹下茎葉処理	実・継	実) [(花木); 一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・雑草茎葉処理 ・500~1000mL<100L>/10a  注) ・雑草の草丈30cm以下で使用する ・作物に飛散しないように散布する  ・試験された花木: ツツジ・ササキ・ライグ・ネイグ・ネ、ツツジ、ササキ、ペニナナ モ  継) ・多年生雑草に対する除草効果の確認	
					一年生1株			全般
					一年生広葉			全般
					多年生1株			全般
					多年生広葉			全般
その他								
設計 薬量 <水量> /10a	樹冠下雑草茎葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 500mL <100L> 750mL <100L> 1000mL <100L> 対) 三共の草枯らし							
ツツジ	適用性 継続	千葉大 園芸 (1)	ねらい 対象 雑草	樹幹下茎葉処理	実・継	実) [(花木); 一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・雑草茎葉処理 ・500~1000mL<100L>/10a  注) ・雑草の草丈30cm以下で使用する ・作物に飛散しないように散布する  ・試験された花木: ツツジ・ササキ・ライグ・ネイグ・ネ、ツツジ、ササキ、ペニナ ナ モ  継) ・多年生雑草に対する除草効果の確認		
				一年生1株			全般	
				一年生広葉			全般	
				多年生1株			全般	
				多年生広葉			全般	
その他								
設計 薬量 <水量> /10a	樹冠下雑草茎葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 500mL <100L> 750mL <100L> 1000mL <100L> 対) 三共の草枯らし							
ツツジ・サ サキ	適用性 継続	広島 (1)	ねらい 対象 雑草	樹幹下茎葉処理	実・継	実) [(花木); 一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・雑草茎葉処理 ・500~1000mL<100L>/10a  注) ・雑草の草丈30cm以下で使用する ・作物に飛散しないように散布する  ・試験された花木: ツツジ・ササキ・ライグ・ネイグ・ネ、ツツジ、ササキ、ペニナ ナ モ  継) ・多年生雑草に対する除草効果の確認		
				一年生1株			全般	
				一年生広葉			全般	
				多年生1株			全般	
				多年生広葉			全般	
その他								
設計 薬量 <水量> /10a	樹冠下雑草茎葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 500mL <100L> 750mL <100L> 1000mL <100L> 対) 三共の草枯らし							
ペニナナ モ	適用性 継続	福岡 果樹苗木 (1)	ねらい 対象 雑草	樹幹下茎葉処理	実・継	実) [(花木); 一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・雑草茎葉処理 ・500~1000mL<100L>/10a  注) ・雑草の草丈30cm以下で使用する ・作物に飛散しないように散布する  ・試験された花木: ツツジ・ササキ・ライグ・ネイグ・ネ、ツツジ、ササキ、ペニナ ナ モ  継) ・多年生雑草に対する除草効果の確認		
				一年生1株			全般	
				一年生広葉			全般	
				多年生1株			全般	
				多年生広葉			全般	
その他								
設計 薬量 <水量> /10a	樹冠下雑草茎葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 500mL <100L> 750mL <100L> 1000mL <100L> 対) 三共の草枯らし							
2. HGAL-12 液 グリスチン・トリブリン・ピロピリン 塩:1.0%  [ハート]	ツツジ・サ サキ	適用性 新規	山形園試 福島 千葉大 園芸 三重 鈴鹿 鳥取 園試 広島 (6)	ねらい 対象 雑草	樹幹下茎葉処理	継	継) ・効果、薬害の確認	
					一年生1株			全般
					一年生広葉			全般
					多年生1株			全般
					多年生広葉			全般
その他								
設計 薬量 <水量> /10a	樹冠下雑草茎葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 原液 20mL/m <sup>2</sup> <-> 原液 30mL/m <sup>2</sup> <-> 原液 40mL/m <sup>2</sup> <-> 対) わず AL1.0							



D. 花き関係 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ▷は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
3.S-28 乳 アチメチル:50% 【住友化学】	ワツシ・サ サ	適用性 継続	山形園試 福島 鳥取 園試 (3)	ねらい 樹幹下土壌処理 対象 雑草 一年生(根) 全般 一年生(葉) 全般(ワツシ科、ワツシ科を除く) 多年生(根) - 多年生(葉) - その他 - 設計 全面土壌処理 植付け後または生育期(雑草発生前) 薬量 <水量> /10a 200mL <100L> 200mL <150L> 400mL <100L>	実・継	実) [(ワツシ・サツキ):一年生雑草(ワツシ科、ワツシ科を除く)] ・生育期 雑草発生前 ・土壌処理 ・200~400mL<100~150L>/10a 注) ・樹幹・枝葉に掛からないように散布する 継) ・連年使用した場合の薬害の確認

E. 野菜関係 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ▷は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
1.AKD-8151(L)液 1-ナフタレン酢酸ナトリウム A:0.2% 【アヅマ 株式会社】	ホウチヤ トマト	適用性 継続	長野 野花試 <中間> (1)	ねらい 着果促進 設計 散布 開花当日/1回 薬量 <水量> /10a 10倍 <十分量> 20倍 <十分量> 40倍 <十分量>	実・継	実) [ニホウチヤ;着果促進] ・開花当日 ・10~40倍<十分量> 1回 ・子房部散布 継) ・年次変動の確認
	トマト	作用性 新規	植調研 (1)	ねらい 着果促進 設計 花房部噴霧 開花前3日~開花後3日/1回 薬量 <水量> /10a 50倍 <十分量> 100倍 <十分量> 500倍 <十分量> 1000倍 <十分量> 比) トマト 花房部噴霧 開花前3日~開花後3日/1回 50倍 <十分量>	-	(作用性)
	ナス	作用性 新規	植調研 (1)	ねらい 着果促進 設計 茎葉部全面散布 開花当日 薬量 <水量> /10a 100倍 <十分量> 500倍 <十分量> 1000倍 <十分量> 2000倍 <十分量> 比) トマト 花房部噴霧 開花当日/1回 50倍 <十分量>	-	(作用性)
2.SYJ-243 フロフド バクローブトリアゾール :21.5% 【シンジエンテクノロジーズ】	トマト	作用性 新規	植調研 栃木 愛知 (3)	ねらい 育苗苗期の伸長抑制 設計 播種穴薬液滴下処理 播種後覆土前 薬量 <水量> /10a 15万倍希釈(1.5ppm) <0.2mL/播種穴> 7万5千倍希釈(3.1ppm) <0.2mL/播種穴> 4万5千倍希釈(5.1ppm) <0.2mL/播種穴> 2万2千500倍希釈(10.2ppm) <0.2mL/播種穴>	継	継) ・効果、薬害の確認
	トマト	適用性 新規	植調研 福岡 南九州大 (3)	ねらい 育苗苗期の伸長抑制 設計 播種穴薬液滴下処理 播種後覆土前 薬量 <水量> /10a 15万倍希釈(1.5ppm) <0.2mL/播種穴> 7万5千倍希釈(3.1ppm) <0.2mL/播種穴> 4万5千倍希釈(5.1ppm) <0.2mL/播種穴>		
	ミニトマト	作用性 新規	植調研 栃木 愛知 (3)	ねらい 育苗苗期の伸長抑制 設計 播種穴薬液滴下処理 播種後覆土前 薬量 <水量> /10a 15万倍希釈(1.5ppm) <0.2mL/播種穴> 7万5千倍希釈(3.1ppm) <0.2mL/播種穴> 4万5千倍希釈(5.1ppm) <0.2mL/播種穴> 2万2千500倍希釈(10.2ppm) <0.2mL/播種穴>	継	継) ・効果、薬害の確認
	ミニトマト	適用性 新規	植調研 福岡 南九州大 (3)	ねらい 育苗苗期の伸長抑制 設計 播種穴薬液滴下処理 播種後覆土前 薬量 <水量> /10a 15万倍希釈(1.5ppm) <0.2mL/播種穴> 7万5千倍希釈(3.1ppm) <0.2mL/播種穴> 4万5千倍希釈(5.1ppm) <0.2mL/播種穴>		
3.ジベレリン 水溶液 ジベレリン:3.1% 【協和発酵パルファム】	ヤマモモ	適用性 継続	青森 野菜研 秋田農試 愛知 山間 (3)	ねらい むかご発生抑制、芋肥大促進 設計 薬害散布 発芽4週間後~収穫2ヶ月前 薬量 <水量> /10a 25ppm×5回(散布間隔10日間) <100L> 25ppm×8回(散布間隔約1週間) <100L> 50ppm×5回(散布間隔約10日間) <100L> 50ppm×8回(散布間隔約1週間) <100L> 対) 無処理	実・継	実) 【ヤマモモ;むかご発生抑制、芋肥大促進] ・発芽4週間後~収穫2ヶ月前 ・25~50ppm<100L>/10a 5~8回 ・茎葉処理 注) ・5回散布は散布間隔10日間、8回散布は散布間隔7日間を目安とする。 ・種・品種によっては芋肥大促進効果が劣る場合がある。 継) ・芋肥大促進効果の年次変動の確認

## F. 花き関係 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ▷は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
1. AKD-8151(L) 液 1-ナフタレン酢酸ナトリウ A:0.2% 【アグロ ショウ】	花木	作用性 新規	<福岡 果樹苗木> (1)	ねらい 挿し木発根促進 挿し穂基部浸漬(10秒) 挿し木直前 2倍、原液 <水量> /10a 挿し穂基部浸漬(10秒) 挿し木直前 2倍	-	(作用性)
2. NPK-063 水和 7667'リトール:50% 【日本農業】	ペニナナ サ	適用性 新規	千葉大 園芸 福岡 果樹苗木 <中間> <南九州大> (3)	ねらい 新梢伸長抑制 全面均一土壌散布 萌芽2週間前または新梢伸長開始2週間前 800g <100L> 800g <300L> 2000g <100L> 比) ナリフール粒剤 全面土壌混和 萌芽2週間前または新梢伸長開始2週間前 10~20kg	継	継) ・効果、薬害の確認
3. ジベレリン 液 ジベレリン:0.5% 【福島県農業総合セン ター】	リンドウ	適用性 継続 (自主)	岩手<中間> 山形<中間> 福島<中間> (3)	ねらい 生育促進(自主試験) 株元散布 収穫終了時 100ppm <10mL/株(65L)> 100ppm <5mL/株(32.5L)> 200ppm <10mL/株(65L)> (倍量区) 対) 無処理	継	継) ・効果、薬害の確認
4. ガミジツト' スプレー ガミジツト':0.4% 【日本曹達】	アサギ	適用性 継続	福島 広島 福岡 (3)	ねらい 茎伸長抑制 茎葉処理 摘芯後1回 十分量<希釈せずそのまま散布>	実	実) 【アサギ】茎の伸長抑制] ・摘芯後 ・希釈せずそのまま散布 ・十分量 1回 ・茎葉処理  注) ・品種によりわずかに退色あるいは花径が減少 する場合がある。

## G. 平成23年度 春夏作分 花き関係 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ▷は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
1. ジベレリン 液 ジベレリン:0.5% 【福島県農業総合セン ター】	リンドウ	適用性 新規 (自主)	福島 (1)	ねらい 探花後株生育促進、欠株抑制効果 株に散布 開花期 100ppm<10mL/株(65L/10a)> 100ppm<5mL/株(32.5L/10a)> 200ppm<10mL/株(65L/10a)> (倍量区) 対) 無処理	-	(H24年度分参照)
2. ガミジツト' スプレー ガミジツト':0.4% 【日本曹達】	アサギ	適用性 継続	テノ・マルチ園芸専 門学校(自社) (1)	ねらい 茎伸長抑制効果 茎葉処理 摘芯後7~30日 十分量<希釈せずそのまま散布> 参) ビーナソ水溶剤 茎葉処理 摘芯後7~30日 200倍 <50~150L>	実 (従来 どおり)	実) 【アサギ】節間伸長抑制] ・摘芯後7~30日(摘芯後1回) ・十分量(希釈せずそのまま散布) ・茎葉処理

## H. 平成23年度 秋冬作分 花き関係 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ▷は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
2. ステロン 液 ステロン:10% 【福島県農業総合セン ター】	ユキナギ	適用性 新規 (自主)	福島 (1)	ねらい 落葉開花促進 茎葉処理 促成前 100倍<1L/株> 500倍<1L/株>	継	継) ・効果、薬害の確認

## I. 平成21年度 春夏作分 野菜関係 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ▷は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
1. BAH-0805乳 ジメチルP:94~96% 19.7% ベンチイリジン:96% 23.1% (40/40) 【BASFジャパン】	コマクサ	適用性 継続	北海道農研 北海道花・野菜 北海道北見農試 (3)	[一年生雑草] ・定植後 雑草発生前 ・土壌処理 ・200, 300, 400mL<100L> 対) コーゴ-サン乳剤30 400mL<100L>	保留 実	実) [春夏作、露地；一年生雑草] ・定植後 雑草発生前 ・全面土壌処理 ・200~400mL<100L>/10a